

身近な話題などお知らせください！  
情報をお待ちしています

## 水が引いた堀をきれいに

蒲池堀割委員会 堀干し

堀なおしネットワーク柳川まちづくり蒲池堀割委員会は11月23日、市民協働まちづくり事業として、蒲池農村環境改善センター東側の堀で堀干しを行いました。堀の底にたまった泥をくみ上げる堀干しは、堀の環境を保つために各地域で行われていた行事。小雨が降る中、約70人の参加者は胸まであるゴム長靴をはき、泥に足を取られながらも協力して泥を上げました。作業した柳川高校野球部1年の伊地知修一郎君は「泥の下はごみがいっぱいでした」と驚いていました。



水が引いた堀から泥やごみを上げる参加者

## 落語でふるさとに元気を

「台所鬼」のひとり寄席

11月23日、片原町の瑞松院の本堂で、市出身の落語家「台所鬼」さんのひとり寄席がありました。中町出身の鬼さんは、柳家花緑さんの弟子で、平成17年に二つ目に昇進。商店街から生まれた落語家に、ふるさとで落語を披露してもらおうと、柳川商店街振興組合が企画して実現しました。鬼さんは、「狸の鯉」「愛宕山」の2つの落語を表情豊かに披露し、会場に集まった約150人を沸かせました。井上ミドリさん(隅町)は「とても楽しいひとときでした」と話しました。



集まった人たちに落語を披露する台所鬼さん

## 前向きに生きることの大切さ伝える

平成24年度 人権を考えるつどい

12月2日、大和公民館で人権を考えるつどいがあり、俳優の小西博之さんが講演しました。小西さんは、欽ちゃんファミリーの一員としてバラエティー番組などで活躍。「コニタン」の愛称で親しまれています。小西さんはマイクを使わず、観客席を駆け回りながら、親しみやすい口調で講演。自身が経験した突発性難聴や腎臓がんの闘病生活などのエピソードを紹介し、「何が起きても幸せかどうか決めるのは自分」と前向きに生きることの大切さを会場に詰めかけた約400人に訴えました。



小西さんはマイクを使わず観客席で講演した

## 今年は豊作 品質も良好です

今年初の秋芽のり入札会

11月28日、今シーズン最初の秋芽のりの入札会が福岡有明海漁連共販センターで行われました。今年は7月の水害の影響が心配されましたが、入札会には昨年を大きく上回る約1億5000万枚ののりが出品。全国から集まった約300人の仕入れ担当者は、のりの色や味などを確かめながら値段を付けていました。その結果、入札総額は約21億4000万円、平均単価も13円91銭と昨年を2円54銭上回る値が付けられました。



真剣に品定めをする全国から集まった仕入れ担当者

## 金メダリストが一日警察署長

柳川警察署「年末年始特別警戒出発式」

11月27日、柳川警察署で年末年始特別警戒出発式が行われました。犯罪が多発する傾向にある年末年始は、12月1日から1月3日までを年末年始特別警戒活動期間とし、警察や防犯ボランティアなどが協働して防犯パトロールなどを推し進めています。この日は、ロンドンパラリンピックゴールボールで金メダルに輝いた浦田理恵さんが一日警察署長に就任。浦田さんは「事件事故がない町になるようお役に立てれば」と話しました。



観閲台から部隊を送り出す浦田さん(右から2人目)

## 俳句

お釈迦さま菊の香りに包まれて

今月の入選作品 課題「木の葉髪」「菊」

- |  |  |
|--|--|
| 留袖を脱いでしみじみ木の葉髪<br>故里の電照菊に茶のかほり<br>天焦がす気迫のありて菊薫る<br>亡夫に問ふウチの小菊も匂ふでしよ<br>菊花展成果の苦勞ありありと<br>たましいのしづかにうつる菊花展<br>木の葉髪冬の寂しさを連れてくる<br>菊の香を広げ狭庭を広げをり<br>菊薫る参道抜けて川下る<br>全快の布団干したる木の葉髪<br>川沿いに長生会の菊盛ん<br>大輪のみごとな菊とせいくらべ<br>古里の風はあたたか菊香る<br>菊日和コートを腕のツアー客<br>菊日和深呼吸して匂をひねる<br>紅ほのと残る寒菊傘を添え<br>子は禿げと言えどまだあり木の葉髪<br>懸崖の菊橋の如く架かりあり<br>仏壇に最後の菊をあふれ挿す | 三池多美 (西魚屋町)<br>谷 祥子 (柳町)<br>坂田信幸 (鷹ノ尾)<br>江口和子 (今古賀)<br>梅崎三和子 (田脇)<br>高崎登美雄 (間)<br>萩尾法子 (七ツ家)<br>西山幸子 (垂見)<br>古賀幸子 (横山町)<br>大橋弘茂 (百町)<br>古賀治美 (南浜武)<br>古賀俊郎 (新外町)<br>大城靖子 (隅町)<br>原田アツ子 (栄)<br>黒田和代 (吉富町)<br>浦 哲之 (栄)<br>田中位緒枝 (豊原)<br>後藤正毅 (金納)<br>重松秀秋 (糎屋町)<br>小柳エツ子 (中島) |
|--|--|
- 【句評】「菊のことはかり話して診てくれず」ト洞庵。この句、汀子編の新歳時記に採録されています。ト洞庵さんは、市内の蒲池に住まれ、句と菊づくりに遊ばれた方でした。若いころの私はいろいろと助言をいただきました。
- ◆選者の句  
よう従いて来たよね己に木の葉髪
- 俳句を募集しています。選句者は大曲鬼郎さん。1月の課題は「一年用意」「海苔」です。入選作品は1月15日号に掲載します。
- 応募方法 俳句と明記し、自作、未発表の作品(※1人3句以内)に、住所、氏名、電話番号を書いて、ハガキかファクスまたは直接、柳川庁舎企画課広報係(☎77・8425、FAX 74・5520)へ、12月27日(※必着)までにお送りください。
- 鬼郎